

# 在宅医療推進会議

## 1 位置づけ

国立長寿医療センター総長が召集し、わが国における看取りまでを行える在宅医療を推進するための方策について、関係者の意見を聴くための会。

会議の意見を基に、在宅医療推進方策について、国立長寿医療センター及び関係機関・関係者が実施すると共に、必要に応じて、制度に反映させる等のために政策提言を行う。

## 2 メンバー

- ・日本在宅医学会
- ・在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
- ・日本家庭医学医療学会
- ・有識者
- ・日本ホスピス・在宅ケア研究会
- ・全国在宅医療推進協会
- ・尾道市医師会
- ・全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会
- ・全国国民健康保険診療施設協議会
- ・日本訪問看護振興財団
- ・在宅医療助成 勇美記念財団
- ・長寿科学振興財団
- ・日本プライマリ・ケア学会
- ・日本老年医学会
- ・日本医師会
- ・日本歯科医師会
- ・日本薬剤師会
- ・日本看護協会
- ・国立がんセンター

佐藤 智	顧問
黒岩 卓夫	会長
白浜 雅司	理事
小松 真	小松医院院長
蘆野 吉和	理事
神津 仁	理事長
片山 壽	会長
米満 弘之	会長
山口 昇	常任顧問
佐藤美穂子	常務理事
住野 勇	理事長
小林 秀資	理事長
前沢 政次	会長
大内 尉義	理事長
三上 裕司	常任理事
池主 憲夫	常務理事
岩月 進	常務理事
古橋美智子	副会長
的場 元弘	室長



### 3 作業部会

推進会議の下に、看取りまでを行える在宅医療を推進するための具体的な方策を策定するために、作業部会を設ける。

#### 在宅医療推進会議

#### 作業部会

(1)在宅医療のグランドデザイン作成に関する部会  
部会長:川島 孝一郎  
(仙台往診クリニック)

- 5年後、10年後、2040年の在宅医療の姿(医療体制の目標値)を作成する。
- 目標達成までの優先順位と年ごとの達成度を作成する。

(2)-1在宅医療の実践例に関する情報を収集・整理し、国民・医療関係者に示す部会  
部会長:蘆野 吉和  
(十和田市立中央病院)

- 在宅医療の推進のため、国民、医療関係者に在宅で看取りを行っている在宅医療を知ってもらうことが必要であり、そのため、どのような情報を集めて、どのような形で提示するかを検討する。

(2)-2特に急性期医療と連携を検討する部会  
部会長:田城 孝雄  
(順天堂大)

- 病院医療関係者(急性期担当医師等)と在宅医療の橋渡しのあり方を検討する。

(3)在宅療養支援診療所・訪問看護ステーション等の能力強化方策に関する部会  
部会長:太田 秀樹  
(医療法人アスムス)

- 参考となる在宅医療施設の見学、研修(短期、例えば看取りに必要な医療とはとか)の実施を検討する。
- 在宅医療関係機関相互間の相談(体制)のあり方を検討する。
- 各種在宅医療のビジネスモデルを検討する。
  - ・複数医師が勤務する在宅医療専門の診療所の場合
  - ・在宅医療を主とするが外来等も行う診療所の場合
  - ・外来等を主とするが在宅医療も行う診療所の場合
  - ・病院が在宅医療を行う場合

(4)新たな在宅医等の人材養成に関する部会  
部会長:和田 忠志  
(あおぞら診療所)

- 志ある在宅医の育成についてどのようにするか(研修場所、対象者をどのようにリクルートするか等)について検討する。
- 倫理的観点から、在宅医療実施に伴う問題点を検討する。

